

橋本ひさのりです

2014年6月発行 発行：橋本ひさのり後援会 TEL 0748-88-4887 URL <http://hisanori-hashimoto.jp>

ついでに

田園の緑も日に日に深くなくなり、小さかった早苗も立派に成長しています。今年は雨も少なく用水の確保に苦労された地域も多かったことと思います。梅雨に入ってからもう多くの雨は降ってはいないものの、近年の異常気象もあり今後の大雨も心配されます。

甲賀の田んぼを育む大原ダム



6月議会

6月議会が6月5日に開会し、報告案件や人事案件、補正予算案件等を審議した他、今回も一般質問には23人の議員が質問に立ち6月22日に閉会しました。

6月議会では6件の報告案件の他、人事案件1件、補正予算案件1件等が上程された他、追加議案として一般会計補正予算（第2号）と変更契約案件が追加上程されました。また、今回も8件の意見書が提出され審査しました。

報告案件は平成25年度一般・特別会計の繰越計算書の他、滋賀県市町土地開発公社および有グリーンサポートここの経営状況の報告でした。人事案件は人権擁護委員の推薦で甲賀町の一宮祥子さんが引き続き委員を務められます。

補正予算案件は平成26年度一般会計補正予算（第1号）で4,504万6千円が増額されました。主な内容は信楽高原鉄道安全輸送設備の整備

他でした。追加議案の一般会計補正予算（第2号）は住宅リフォーム促進事業補助における優先世帯（子育て世帯・高齢者世帯・障がい者世帯）に対する増額分で1,153万2千円が増額されました。同じく追加議案で契約の変更締結は寺庄団地新築工事において3,726万円増額変更するものです。これらの議案はいづれも可決されました。

また、8件の意見書の内「総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書」「中小企業の事業環境の改善を求める意見書」「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」の3件が可決されました。

臨時議会

4月28日に臨時議会が開催され、人事案件（固定資産評価員）、補正案件（平成25年度一般会計（第8号））、条例案件（一部改正4件）、契約の変更締結（信楽高原鉄道信楽線18号災害山川橋梁他本復旧工事）が可決されました。

名神名阪連絡道整備促進議員連盟発足

甲賀市議会では新名神甲賀土山ICを拠点として名神と名阪国道を結び自動車専用道路の早期整備区間格上げと実現を目指して6月4日、サントピア水口で名神名阪連絡道路整備促進甲賀市議会議員連盟設立総会を開催し、議員連盟を発足しました。

名神名阪連絡道路は平成3年にびわこ空港のアクセス道路として位置付けられ、平成6年には東近江市（名神）～甲賀市間の20kmが計画路線に指定されることにも、平成10年には甲賀市～伊賀市間10kmが計画路線に指定されています。平成11年には同区間が調査区間に指定されるとともに、平成13年には日野町～甲賀市間も調査区間に指定され、現在は全線が調査区間となっています。

一般質問

今回の一般質問では、

①人口減少と過疎化対策について

②学校プールの管理運営について

の2点について質問しました。一般質問についての内容は次のとおりです。

人口減少と過疎化対策について

質問 人口減少と過疎化が進む中、甲賀市の今後の方向性とまちづくりは。

市長 甲賀市の強みを活かした取り組みを積極的に進めるとともに、子育て支援を中心

に人口減少対策を進める。**質問** 人口減少社会の進展に対する本市の取り組みは。

総合政策部長 総合計画に基づき定住人口の増加に向けた方策に取り組み、人口減少社会に対応していく。

質問 甲賀市の現状と今後の予測は。

総合政策部長 水口、甲南地域はわずかに人口が増加、そ

子育て支援を中心に



の他は減少しており、今後も自然増減により人口の減少が予測される。

質問 人口減少に伴う過疎化に対する市の対応は。

総合政策部長 地域の活力の向上に向け生活基盤の充実と地域コミュニティの活性化が重要であり、豊富な地域資源を活かし過疎化対策にも取り組む。

質問 市街化調整区域では住みたくても家を建てられない現状があるがどう考えるか。

総合政策部長 市街化調整区域内の少子高齢化や若者の流出などに対応するため、一定

の区域の開発行為や建築行為が既存の地区計画制度を活用できるよう検討する。

質問 若者が定着するまちづくりについて。

総合政策部長 若者の定住は大きな課題であり、定住人口の増加に向けた取り組みを加速していく。

学校プールの管理運営について

質問 学校プールにおける安全対策と事故発生時の緊急対応は。

教育部長 日常の安全点検、危険個所の補修等を行うとともに、インターフォンの設置等、緊急時の連絡体制の整備や訓練を行っている。

質問 学校プールでの傷害とその内容は。

教育部長 平成25年度では市内の小中学校で141件のけがが発生しており、主なものは擦り傷、切り傷、及び打撲。

質問 水質管理の現状は。

教育部長 学校による日常管理の他、専門業者による水質

検査を年1回実施している。

質問 授業における児童・生徒の健康管理は。

教育部長 水泳カードで保護者に確認するとともに、登校後と水泳開始時および実施中の観察も複数体制で行っている。

質問 市内の学校プールの材質と形状は。

教育部長 市内小中学校には大プールが29面、小プールが19面あり、大プールではFRP製が19面、コンクリート製が9面、耐食アルミ合金が1面となっている。

質問 施設の点検や維持管理の現状は。

教育部長 学校による毎日の

点検の他に専門業者による点検業務を実施しており、修繕の必要個所は職員または専門業者による工事に対応している。

質問 学校開放時における安全対策は。

教育部長 使用団体に向け救急救命法の講習の実施や複数監視体制の確認等を行っている。

編集後記

甲賀市では都市農村交流として「忍者の里で田舎体験」を行っており、我が家にも4人の中学生がやってきました。野菜の苗を植えたり甲賀もちの加工場を見学したり、田舎体験を満喫して帰っていきま

した。一方、今年もフランスからの学生が3人甲賀へホームステイしています。今回は2週間ですが、多くの日本文化の体験と交流につながればと思っています。



コンクリート製の小学校のプール